

インフォメーション

春夏製品のご案内

こてっちゃん[®]

こてっちゃん
コク味噌味



大人のこてっちゃん
旨辛牛ホルモン焼用



大人のこてっちゃん
旨塩牛ホルモン焼用



新発売

こてっちゃんFamily ミックスホルモンシリーズ

こてっちゃんの新しい仲間
「こてっちゃんFamily」ブランドから、
ホルモンの美味しさを楽しんでいただける
新シリーズを発売しました。

新発売

こてっちゃんFamily 白ミックスホルモン

牛ショウチョウと豚ガツを、ごま油が香る
旨みのきいた醤油だれで味付けしました。



新発売

こてっちゃんFamily 赤ミックスホルモン

牛ショウチョウと豚ハラミを、合わせ味噌の
コクがきいた味噌だれで味付けしました。



新発売

こてっちゃんFamily 辛口ミックスホルモン

牛ショウチョウと豚レバーを、コチジャンのコクと
唐辛子がきいた辛味噌だれで味付けしました。



株主ご優待のお知らせ

株主の皆さまだけにお届けします。

ご優待内容

■2月末の株主さま

- ◎2,000株以上保有の株主さま
「10,000円相当の国産牛肉、または、国産豚肉」
- ◎500～1,999株保有の株主さま「3,000円相当の自社グループ製品」
※上記の国産牛肉（豚肉）および自社製品は11月にお送り致します。

■2月末、8月末の株主さま

- ◎100株以上保有の株主さま一律「当社オリジナルギフト商品を優待価格にて販売」
※6月、11月に対象株主さまに販売のご案内をさせていただきます。

国産牛肉(和牛) 弊社が厳選した国産牛肉、豚肉の逸品。注2,000株以上保有



ローズスライス



ローズステーキ

国産豚肉(ゆめの大地)



※写真はイメージです。
料理写真の野菜、仕器等は
ご優待セットには含まれておりません。

会社概要

社名 エスフーズ株式会社
SFoods Inc.(コード番号2292東証プライム市場)
設立 1967年(昭和42年)5月22日
代表者 代表取締役社長 村上真之助
資本金 42億9,835万円
事業内容(グループ) 食肉等の製造・卸売事業、小売事業、外食事業

株式メモ

■事業年度 毎年3月1日～翌年2月末日
■期末配当金受領株主確定日 毎年2月末日
■中間配当金受領株主確定日 毎年8月31日
■定時株主総会 毎年5月
■株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
■株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
郵送物送付先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 電話 ☎0120-782-031(通話無料)
受付時間9:00～17:00(土日休日を除く)
インターネット ホームページURL) <https://www.smb.jp/personal/agency/>

(ご注意)

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先へご連絡ください。

【未払配当金について】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <https://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
- 単元株式数 100株



SFoods News

2023年2月期

2022年3月1日～2023年2月28日



代表取締役社長
村上 真之助

事業の概況に についてのご報告

当連結会計年度においては、新型コロナウイルスの流行は続いているものの、2022年3月にまん延防止等重点措置が解除されて以降、政府による行動制限はなされず、また、旅行支援などの各種景気浮揚対策がなされたこともあり、外食・観光業などを中心に持ち直す動きがみられました。しかしながら、急激に進んだ円安や不安定な国際情勢によるエネルギーや原材料の高騰により、国民生活は大幅な出費増に苦しめられました。当食肉業界においても、食肉原料の高騰や物流コストの上昇により、収益の確保が非常に困難な状況におかれましては。

このような状況のもと、当社グループは、「魅力あるスタミナ食品をもって世界に貢献する」、「企業の成長発展とともに、生活・文化の向上を図る」という社是に基づき、お客様に安全安心な食肉商品を安定的にお届けすることを優先課題として、事業の継続と発展に努めました。



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜一丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表)
<https://www.sfoods.co.jp>

▼食肉等の製造・卸売事業においては、不安定な社会情勢と国際的な需給バランスの変動が進む中、当社は将来に向けた投資を着々と進めました。米国では、オーロラビーフの新工場建設プロジェクトを進め、来年中の完成を予定しております。これにより生産キャパシティの増加と製品品質の向上が期待できます。北海道の国産豚肉事業では、北海道中央牧場の増頭プログラムが完了し、現在は日高食肉センターのカット工場の増設を進めており、本年5月に稼働する予定です。国内の拠点開発では、本年2月、大阪営業所と神戸営業所を統合した新・大阪営業所が完成し、活動を始めました。今後、各地で新たな拠点を整備していく予定です。製品事業においては、「こてっちゃん」の発売40周年を記念して、「ありがとうキャンペーン」を行い、オリジナルブランドの訴求を図りました。

食肉等の小売事業においては、対策本部を設置のうえ、意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう、日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

食肉等の外食事業においては、まん延防止等重点措置により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が時短営業を余儀なくされる事態となりましたが、3月の解除後は行動制限もないことから、徐々に回復基調となりました。また、メニュー及び料金の改定を実施するとともに、不採算店の閉鎖も実施しております。

以上の結果、当連結会計年度の業績は、新型コロナウイルス感染症の流行が下火になり、経済活動が持ち直しつつあるものの、原材料や諸経費が高騰していることなどにより、売上高は3,992億8百万円（前連結会計年度比11.3%増）、営業利益は145億7千1百万円（前連結会計年度比16.4%減）、経常利益は158億4千1百万円（前連結会計年度比12.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は105億7千万円（前連結会計年度比11.5%減）となりました。

今後の見通し

3年以上に亘り日本社会を苦しめた新型コロナウイルス感染症による混乱も、ようやく落ち着きを見せてきました。街に活気も戻りつつあり、影響を受けた業界も事業の立て直しを進めているように見受けられます。しかしながら、以前から進行していた諸物価の高騰に加え、ロシアのウクライナ侵攻に端を発するエネルギーや原材料の供給危機や、円安の進行などにより、日本経済の先行きは不安感が付きまとっております。このような状況下、当社グループとしては、長年構築してきた食肉関連事業の垂直統合の利点を最大限に生かして、食品の安定供給に努めると共に、確固とした経営地盤の構築に取り組んでまいります。

食肉等の製造・卸売事業においては、食肉原料の供給網の安定化を目指し、最上流にあたる食肉の生産・調達部門を更に拡充していきます。特に海外での肥育事業については、積極的な投資をしていく方針です。国内においても、積極的な仕入れ・販売戦略を構築して、牛肉・豚肉を中心に取扱量を増大し、存在感をアピールしていきます。

製品事業については、市場の動向に敏感に対応した製品の開発・販促を進めていきます。新製法確立のための設備投資を進め、従来手薄であった調理製品カテゴリーの強化を図ります。また、新たに「こてっちゃん Family」ブランドを立ち上げ、従来の「こてっちゃん」ブランドに加えて、より広がりのあるブランド展開を進めます。

食肉等の小売事業においては、引き続き既存店活性化や、不採算店閉鎖を継続しつつ、新規ディベロッパへの出店や、新業態店舗への取り組みを進めてまいります。また、物流センターを生かしたより効率的な運営を図る予定です。

食肉等の外食事業においては、お客様が安心してご利用できるための衛生対策・環境設備を徹底させるとともに、従来からの着実な採算重視の経営を維持していく方針です。

グループ経営の向上については、不安定な世界情勢下、より緊密で迅速な経営連携が求められますので、横断的な管理を進めることにより、グループ全体のバランスの取れた発展を目指していきます。食品安全や持続可能な社会に対する要請など社会的な経営課題については、より具体的な施策を進めます。また、情報技術を使った経営の合理化への取り組みも加速してまいります。

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響は弱まってきたものの、不安定な国際情勢による原材料やエネルギーの価格の先行きが

見通せず、厳しい経営環境が続くものと予想されることから、売上高4,200億円（前年同期比5.2%増）、営業利益135億円（前年同期比7.4%減）、経常利益140億円（前年同期比11.6%減）、親会社株主に帰属する当期純利益100億円（前年同期比5.4%減）を見込んでおります。

中長期的な会社の経営戦略

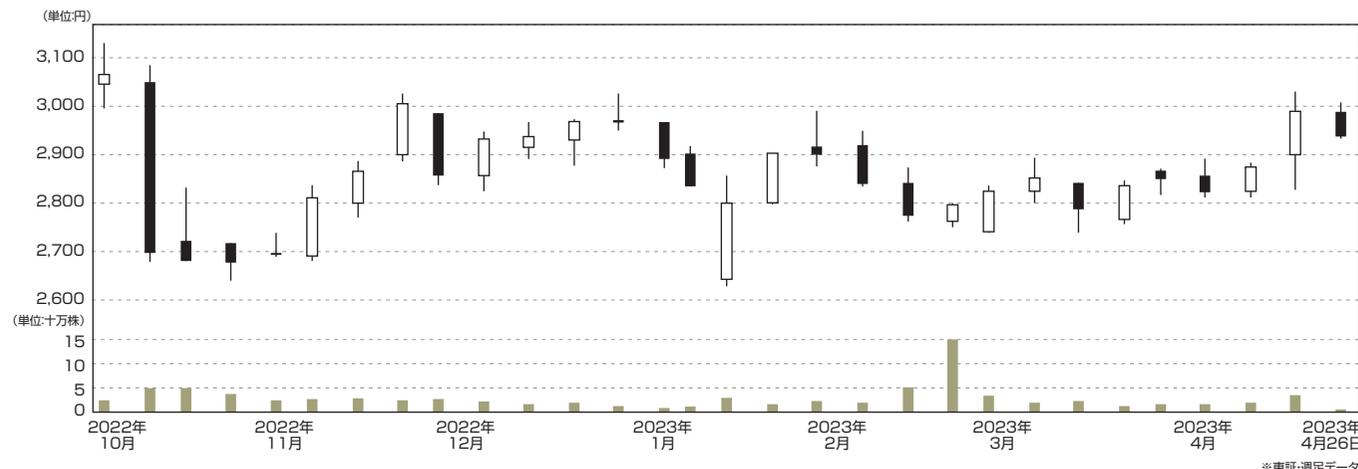
当社グループは、経営の基本方針に沿って食肉の総合企業集団を目指しており、食肉を中心とした食品の安定的な供給体制の確立に引き続き取り組んでまいります。具体的には、食肉の生産、調達、加工、流通、及び最終消費者向け販売・サービスという食肉流通の川上領域から川下領域まで一貫したグループ内食肉サプライチェーンの構築を進めます。さらに、国内に留まらず海外における食肉流通機能も拡充することにより、社会情勢の変動への対応力を高めてまいります。

営業成績と財産状況の推移（連結）

区分	期別			
	第55期 2021年2月期	第56期 2022年2月期	第57期 2023年2月期	第58期見通し 2024年2月期
売上高	327,479	358,824	399,208	420,000
営業利益	12,609	17,427	14,571	13,500
経常利益	12,990	17,999	15,841	14,000
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,965	11,944	10,570	10,000
総資産	172,394	181,518	204,778	
純資産	94,507	106,157	117,306	
1株当りの年間配当金	64円	70円	78円	84円

単位：百万円（配当金を除く）

●株価の推移と株式の売買高



※東証・適正データ